

ともに創る”学年行事”

厳しい寒さが続きますが、日一日と、日が長くなっています。春はもうそこまで来ているのを感じます。今日は、「ともに創る”学年行事”」についてお話をします。

先週の19日(水)の5・6時間目に、2年生の学年行事が体育館行われました。歌唱や楽器演奏、朗読、ダンスなどの、8組の個人やチームのパフォーマンスが披露されました。文化的、芸術的な要素も盛り込まれており、さまざまな個性や才能が豊かに発揮され、内容の濃い発表会となっていました。

大勢の人たちの前で、表現することは、とても勇気がいることです。緊張もすることでしょう。自分一人だけでは、新しいことに一步を踏み出す勇気はなかなか湧いてこないかもしれません。それでも、「挑戦してみよう」という気持ちになれるのは、仲間への信頼、仲間からのサポートが、背中を押してくれるからだと思います。

当日、体育館での発表では、みんなからの手拍子で場を盛り上げたり、終わったあとは、大きな拍手で健闘を讃えたりしていました。司会の人たちも、発表と発表の間をつなぐなどの活躍を見せていました。がんばっている仲間を、みんなで応援しながら、全員で楽しもうとする気持ちが表れていたと思います。

力いっぱいに舞台で演じることも「表現」することですが、その人たちを、力いっぱいに応援することも一つの「表現」だと思います。一人ひとりの様々な表現が集まり、重なり、響き合うことによって、集団としてのまとまりが育ち、みんなで喜びや感動をともにできるのだと思います。

協力しあう集団には、みんなの「居場所」があり、みんなの「出番」があります。このような集団や社会の中では、誰もが、自分自身を安心して表現することができるでしょう。この安心こそが、新しいことに挑戦してみよう、頑張ってみようという気持ちの土台になっていくはずです。

12日の1年生のスポーツ大会のときも、みんなで力を合わせてよりよい「学年行事」をともに創ろうとする気持ちが、一人ひとりの中に、また、みんなの中にいっぱいに詰まっていました。1年生も2年生も、大成功の学年行事でした。

明日、26日には、3年生の学年行事があります。卒業式を間近に迎え、76期生の集大成として、いつまでも心に残る学年行事を創りあげてください。

※全校集会での講話の内容に加筆・修正しています。